

No. 20-06 2020年4月20日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net



目黒自動車交通 コロナ解雇!?

目黒通り東急バス営業所むかい・中央町1丁目の目黒自動車交通(1950年創業)は、テレビなどでも報道された、ロイヤルリムジングループ6社に属し、11日ドライバーに対する突然の解雇表明が、約100名が参加した説明会で金子社長よりなされました。

目黒交通には労働組合がありました。事前に話はなく15日で業務停止と。組合はさっそく組合員全員での会議で、組合一丸での対応を決定。雇用の継続・休業補償・助成金の活用、組合事務所確保など求め、団交を申し入れます。

右は社前に貼り出された社長名のお知らせ➡

- * 解雇回避のための、雇用調整助成金の活用などが、全く行われていない。
- * 休業なのに「退職」を求め、解雇の場合必要な解雇予告手当などは払わない。
- * 「皆さん、再開しましょう」と、回復後の再雇用を言いながら、具体的な約束ではない。
- * 回復までの待機なら、社長が有利であるとする失業保険の受給資格自体が疑問。
- * ドライバーの平均年齢63歳。失業保険も一時金のみ65歳以上も、50人を超える。
- * そもそも労働組合に何も知らせない。

など、疑問だらけの不当な「コロナ退職強要」。労働者はこれに忤じず、グループ他社でも組合結成など、交渉を続けています。

コロナ解雇はダメ!

目黒労協でも、全面的に支援していきます。 1

ロイヤルリムジングループ社員の皆様へ

この度、政府より緊急事態宣言が出されることになりました。それに対し、当社は生き残りをかけ、一旦事業を休止することを決断しました。

具体的な方策は現場より説明致しますが、混乱の中少しでも早く、皆様が円滑に失業手当をもらえるために決断した次第です。また、政府からの30万円の給付金もしっかりです。

タクシー事業の休業補償は歩合給と残業の給与体系ため、失業手当より不利なためこの選択をしました。

各関係者とグループへの説明のため私は今奔走しており、皆様に直接伝えるべきこと、申し訳ありませんが、取り急ぎまずは書面にてお知らせとさせていただきます。また、一日も早く説明に参りますので、どうかご理解いただき、手続きへのご協力をお願い致します。今後も、取りうる手段の中で一番の対応をしていきますので、どうかご理解ください。

長い人生の中で土砂降りの時もあるものです。神戸の震災で友人をなくし、家業もなくし、家も全壊となりましたが、私の家は復活しました。私にはその復活のDNAが流れています。

皆様とたった10台から一緒にこの会社を作ってきました。皆様にお約束いたします。必ず生き残り、皆さまの職場を完全復活できるように、私の人生をかけて戦います。

そして完全復旧した暁には、みんな全員にもう一度集まっていただき、今まで以上に良い会社を作っていきたいと思っております。

ロイヤルリムジンは永久に不滅です。

かならず皆さん、再会しましょう!

2020年4月6日
ロイヤルリムジン株式会社
代表取締役 金子 健作